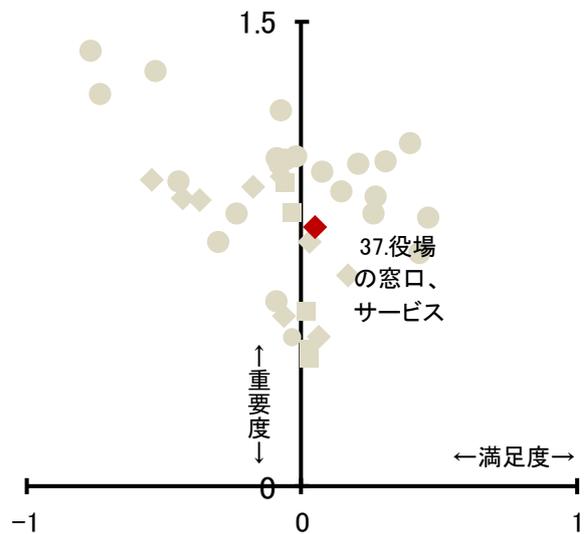


# 13 行財政運営

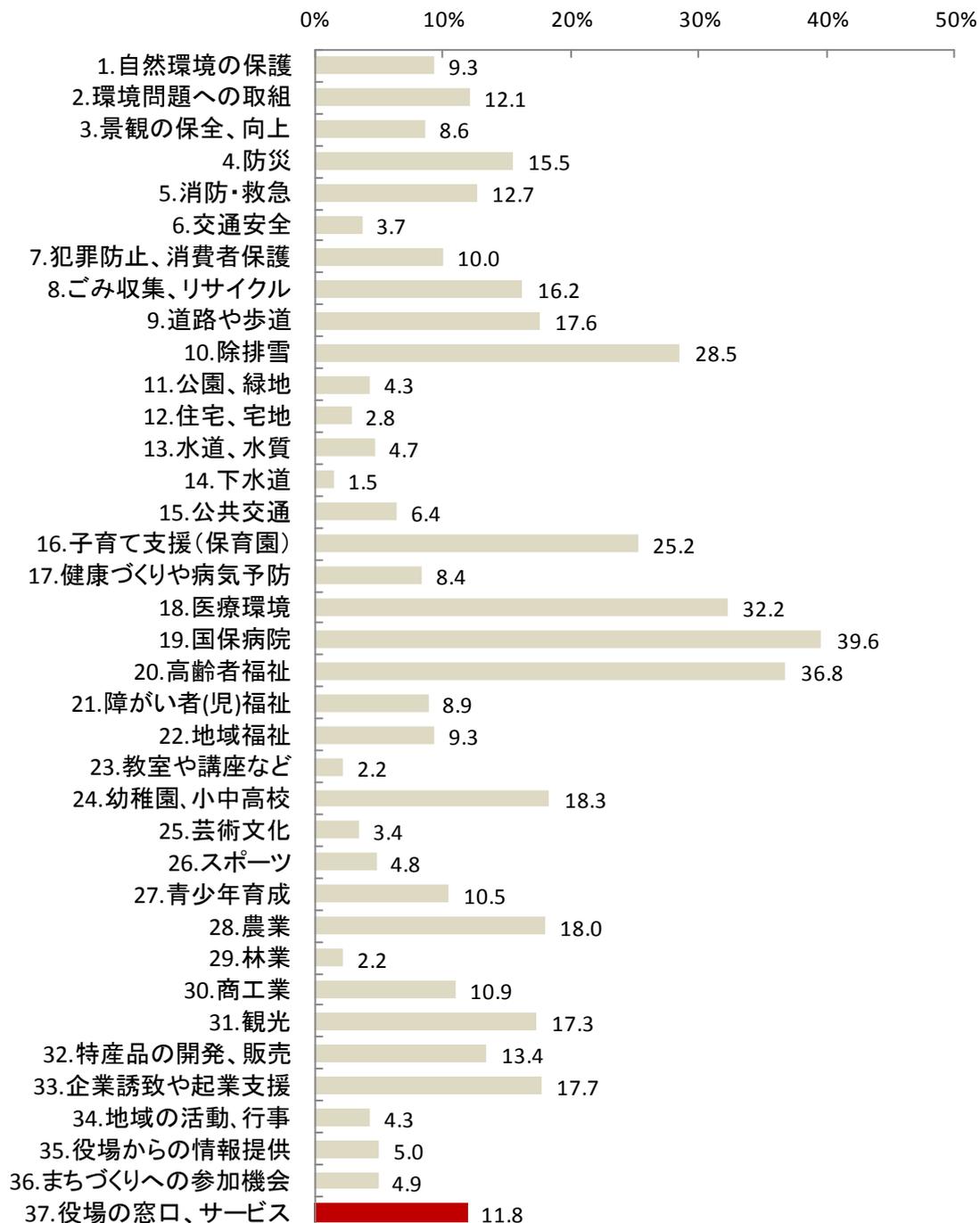
## (1) 関連グラフなど

**【問2】暮らしの満足度・重要度**  
 満足度をヨコ軸、重要度をタテ軸にした場合の位置づけです。

**【問3】特に重要なもの**  
 問2と同じ37項目の中から、特に重要と思う項目を5つ選んでもらった位置づけです。



**【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)**



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
行政組織の活性化	権限移譲を考慮した機構改革、定員配置	H18年にグループ制を導入後、人員の抑制に取り組んだ。	職場によってはグループ制が機能していない部署も見受けられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内外の職員の業務量の平準化及び再任用職員の適正配置。</li> <li>・自治基本条例に基づく職員の責務を達成するための人材育成。</li> <li>・政策課題に的確に対応するため、能力・実績に基づく人事管理を推進。</li> </ul>
行政運営、行政サービスの効率化	電子申請・予約、文書管理、電子決裁システムの整備	電子申請・イベントや講座の申込などにシステム活用している。また、ファイリングシステムを導入し、適正な文書管理と検索性の向上、事務の効率化を進める。	更なるシステムの活用が必要。 ファイリングシステムの本格導入に向けて、管理体制の整備が必要。	町民の利便性向上のため、システムを活用した申請・申込受付・アンケートなどの件数を増やす。 ファイリングシステムを順次導入する。
	電算システムの更新	H23年度より稼働している新電算システムにおいては、プログラム及びセキュリティ強化も随時行い稼働も安定している。	自治体クラウドの導入検討	全国的なクラウド化への移行傾向や国の推進などから前向きに検討していく。
	戸籍システム電算化事業の実施	戸籍の電算化により、記載事務の効率化、交付の迅速化が図られてきたが、導入後5年を経過し機器の劣化及び、非常時を想定したバックアップ体制として、戸籍の正本と副本の同時滅失を防止するための戸籍副本データ管理システムを稼働させるため、機器の更新を実施した。		定期的なメンテナンスを実施していく。
	庁舎施設の集約検討	利用者の安全の確保及び施設の老朽化に伴う損耗箇所を年次計画による補修によって長寿命化が図られている。	老朽化により、年を追うごとに補修箇所が増えてきているため、軽微な補修では対応しきれない状況になりつつある。また、別館との物理的な距離は非効率的であって、利用者の不便にも繋がる。	長寿命化を図ろうとしても、施設の使用限度に限界はある。さらに、別館も老朽化が進む中で、本庁舎との統合も視野に入れた本庁舎改築論議が必要。
	公共施設の改修	計画策定に係る情報収集	町内各所に所在する町有財産の現況を把握するとともに、財産台帳との突合が必要である。	現状を把握したうえで計画を策定し、長寿命化を図るものと、利用見通しが無い財産の処分を検討していく。

計画の管理、行政評価の推進	行政評価を含めた計画の進行管理の実施	平成 25 年度事業の事後評価、平成 26 年度事業の事中評価を実施する。内部評価も行い、評価内容を次年度予算に反映する。	総合計画・予算・行政評価の各事業が完全整合していないため、原課の事務負担が増している。また、評価内容が予算等に反映されていない。	事業の完全整合で総合計画、行政評価を一元管理して原課の事務軽減に努め予算に反映させる。また、町民にわかりやすい行政評価という点も留意する。
財政の運営	財政運営計画※の実行と見直し	第 2 次財政運営計画の計画目標を達成しており、財政の健全化は図られている。	過疎地域の指定（h26.4）に伴い、新たな財政運営の指針が求められている。	平成 26 年度中に財政運営計画の見直しを行う。
	財政基盤の強化と効率的財政運営の実施	町有財産（遊休資産）の有効活用を図るための更なる取組が求められている。	地方交付税が減少傾向にある中で、持続可能な財政運営に努める必要がある。 消費税の税率改定（h27.10 予定）に合わせ、使用料・手数料の見直しを行う必要がある。 町有建物の老朽化に伴い、長期的な視点で計画的な管理を行う必要がある。	使用料・手数料の見直しに向け、平成 26 年度中には原価計算作業に着手する。 関係部局と連携を図りながら、総務省が求める公共施設等総合管理計画の策定に向けた作業を進める。
行政改革の推進	行政改革実施計画の継続策定と実施	第 5 次行政改革実施計画に基づき、行政改革を実施する。（～27 年度まで）	対象の担当においては、計画に基づいた取組が行われていないものもある。	計画に沿った取組を進める。
	外部委託（アウトソーシング）推進計画の実施	平成 24 年度で計画は完了しているが未実施の 4 事業を第 5 次計画に載せ引き続き推進していく。	課題等の解決が進まないため、実施が遅れている。	第 5 次行政改革実施計画に基づき、平成 27 年度中までに全 4 事業外部委託を実施する。
危機管理体制の充実	危機管理意識の向上	職員を対象とした「美幌町地域防災・減災研修会」を開催し、災害等の危機管理意識の向上を図っている。平成 25 年度は、網走気象台台長を講師として気象をテーマに実施。平成 26 年度は、被災地支援に派遣された西農委局長を講師として実施する。	特になし	職員の危機管理意識の向上を図るうえで継続する必要があり、毎年研修会を開催していく。
	危機管理対応マニュアルの作成	美幌町地域防災計画を災害毎に作成し、災害対策本部の設置・運営・業務分担を明確にしているほか、職員の非常配備体制については、基準を設けて対応を明確にしている。また、職員の召集の際には、これまでの電話による非常召集から、職員へのメール一斉配信や	特になし	町民が避難する際の判断・伝達マニュアルの作成についてのガイドラインを、国は平成 26 年に見直したことから、災害毎に町の避難判断・伝達マニュアルを作成していく必要がある。

	部局・グループ毎への配信ができる「あんしんねっとびほろ」を平成 26 年 2 月 1 日から運用を開始し、非常召集に活用できる体制づくりができた。		
国民保護計画の策定	平成 17 年 3 月に閣議決定された「国民の保護に関する基本指針」に基づき、北海道が平成 18 年 1 月に「北海道国民保護計画」を作成。本町では、「北海道国民保護計画」に基づき、平成 19 年 3 月に「美幌町国民保護計画」を策定し、平成 24 年 7 月と平成 25 年 7 月に一部変更を行っている。	特になし	今後も町民を保護する計画として継続していく。

※財政運営計画：財政の悪化に伴い、今後の持続可能な健全財政を確立するための計画。歳入の確保、歳出の削減項目をかかげ、基金から繰入を行わない財政運営をめざす。

### (3) 意見、提案

☺：小学生    ⚙：中学生    ♀：育児ママ    🛡：自衛隊    ⚙：高齢者    ●：町民    ○：職員

#### 【将来なっしてほしい美幌町の姿】

☺ 「美幌市」になっている

#### <職員、組織>

- まちづくりも大事な事だと思うが、町職員の人づくりから取り組んで欲しい。(女性・50代)
- 役場職員の自己改革、オープンな役場づくり。今はどうか分かりませんが、行きづらい所のイメージがあります。町営牧場で昼寝をして時間稼ぎをして残業手当てをもらう人がいたり、税金で購入した物を私物化する人もいると関係者から聞いて呆れています。公になる前に改善が必須だと思われます。(女性・50代)
- 不勉強な町職員は職員失格とする事。定期的な試験をして、スキルアップが見られない職員は辞めさせる。(男性・50代)
- 公共施設の無駄な人員数。この声は随分耳にしますが、役場には届いていないのでしょうか？ イベント時（パーティ）、事務所の中で赤い顔をした職員？ でしょうか？ まさか仕事中にアルコールなど飲んでいる事はありませんよね。勤務中ですものね！！ 町民に誤解される様な事務所の出入りはさけた方が良くと思います。イベント時の人員確保は、役場内で何とかならないのでしょうか？ 施設が常にフル稼働している様には見えませんが…。施設内で堂々とTVを観ている。ある日の土曜日の午後4時頃、しゃきっとの受付に居なければならない人が「えくぼ」のTVを観ていました。人の出入りも頻繁ではなく、暇だったのでしょうが、ありえませんか。驚きです。TVを観て収入が得られるのなら、私にも出来ます。雇って下さい。税金は正しく使用されているのでしょうか？ 税金の支払が少しでも遅れると、待たなしの督促→かたや苦勞せずお金が入る人達。生活保護より苦しい

生活を送っている町民の声、しっかり聞いて下さい。お願いします。(女性・50代)

- 職員1人ひとりが町民の声に傾聴し、町民の声を聞きのがしせぬ様に上司に伝え、実行してほしい。稼働していない職員、多々居ると思います。民間の企業ではクビになります。そんなことでは、いくらアンケート実施しても良くならないと思います。まずは、内部で役職員がみんな事を把握し、部下をもっともっと指導すべき。知らないではすまされません。(女性・50代)
- 本気でまちづくりを考えているのか、議会の様子や役場職員の様子を見ていても熱意を感じない。役場職員のやる気のない人には本当にあきれられる。(女性・10~20代)
- 定年退職した町職員の天下りを無くし、若い人が働けるようにすべき。知り合いに町臨職の子が居ますが、手取り10万円位では自立は無理。副業でもしなければ、親元から離れる事は厳しいと思います。正職員と変わらない仕事をこなしているのに、何年勤めても給料は変わらず、消費税・物価は上がっているし、将来を不安がっています。(女性・50代)
- 役場や国保病院など、未だに臨時職員として働いている人もいる。全体の雇用形態なども見直してほしい。(女性・10~20代)
- 町の人材採用がおかしい。まず天下りはやめてほしい。若い人の就職口が少ないのに、何故定年退職した人にまた税金で給与が支払われるのか理解できない。あと、学校の特別支援の支援員も、お金がいいからという理由で、特別支援教育に何の知識も関心もない人が入っているのはおかしいと思う。だいたい募集もないのに採用されている。(女性・40代)
- 石田正子選手や久保効恒造選手などオリンピックメダリストを町職員として採用し、スポーツの振興に起用する。障害者雇用の法定雇用率の確保にもなる。
- “びほろ版”【シンクタンク(情報収集チーム)】の設置各関係機関や各個人で抱えていながら実現に向けた第一歩を踏み出せずにいるアイデアや企画、有益な情報、独自のネットワーク(人脈)をワンストップ窓口で集約し、実現性、有効性などを判断し、各所との調整を図りながら企画を実行に移すことのできるスペシャルチームの存在が必要。併せて現状、各省庁で実施されている公募型の事業(活動や開発に関する補助制度等)にリンクできるよう、本町に採用可能な各種事業に対し常時、注視し活動と事業費をセットでプロデュースできる体制を構築。
- 職員の挨拶、礼儀、思いやりのある対応の周知、徹底。挨拶をしてくれる方が少ないという声をよく聞く。庁舎内の雰囲気をもっと明るくなるといいと思う。
- すべての業務を行う上で、どんなに優れたシステムを構築しても、それ運用する職員の意識レベルが低ければ話になりません。研修の充実もいいのですが、それだけではなく普段の業務の中で上司から部下へきちんと仕事の内容、仕事に対する意識を伝えていくべきかと思います。OJTこそ職員育成の要で、研修はそれを補完するものであり、研修にだけ頼るような育成はまったく意味がないと考えます。
- 利潤追求型の経済行為を行う民間企業で研修を行う事は行政職の視野を広げる意味で今後、必ずや必要ではないか。

#### <民間活力>

- 新しい取組を意欲的・社会実験的にトライアルしていく土壌を醸成する。そのためには、民間企業等で様々な事業に挑戦してきた人材、企画立案や法務、財務などの専門的な人材の活用が、その経験・専門性を生かして、美幌町の良さをブランド化し、マーケティングしながら、観光資源や特産品、農産物やFSC等のエコ資源を売り出していくことが重要。このような人材を活用するための、長期的な展望に立った人事戦略が必要。また、他の自治体ではすでに例がありますが、本町にゆかりのあるオリンピック選手やアーティストを社会人枠で採用し、スポーツ振興グループや社会教育グループで町の政策に貢献してもらうのも一例だと思います。
- 今回の過疎指定を契機として、町民にとって、最適な施策・事業の選択を行い、民間活力

(資金・事業・人材)を積極的に導入し、効率的な行政運営と質の高い住民サービスを提供する取り組みが必要だと思えます。

#### <人材育成>

- 役場職員のみならず、美幌町内の企業を巻き込んで人材育成に大々的に取り組むことで、美幌町が本気で人材育成に力を入れていることが町民に理解されると思われる。また、学習等の範囲を役場にとらわれないことにより、町全体の労働力、発想力、行動力につながり、町全体が活気づいていくのではないかと。そういう意味で町が主導で行う価値も出てくると思う。行政が、人材育成に取り組む、他業種を巻き込んで仕掛けることは面白い取り組みのように思える。

#### <事業、事務>

- 事務、事業を増やす取り組みはしているが、減らす決断ができていない。何か新たな取り組みを行うためには、労力を費やすところからも、それ以上に減らしてから行うべきと。人口減少し、税収も減になる。では、職員も減にしなければならない。
- 総合計画に乗らなければハード事業や新規ソフト事業は実施できないようにする。
- 紙媒体のファイリングシステムを導入していくことにあわせて、部署の統廃合により乱雑となっている電子データの整理整頓もできないものか。

#### <窓口、庁舎>

- ☼ 「婚姻届」がかわいらしくなった。記念になっていいなと思った。既に出している婚姻届も今のデザインのものとの交換できるならばしたいと思った。
- ☼ 「出生届」は手元に残らないので、記念になるような「控え」があると嬉しい。
- 役場の仕事(職員)を美幌町民は皆見えています。たらい回しにしないでほしい。課の窓口にいる人は、話の分かる人をおいてほしい。(新人はやめてほしい。)(60代)
- 以前、役場にわからないことを問い合わせたら、年配の男性職員の対応が悪すぎだった。大きなことより、身近な小さなことから改善したらどうでしょうか。(女性・10~20代)
- 役所の対応。聞かれたことしか答えない。親切さに欠ける。全員が広報を読んでいると思わないでいただきたい。「広報、HPに出ているので。」ではなく、重要な事は聞かれなくても伝えるべき。(女性・30代)
- 役場の方の対応をもっと良くしてほしい。(たまにしか行かないのに、いつも不快です。)(女性・30代)
- (役場の年金担当窓口)に免除申請をしに行った時、「年金払えないなら給料の良い人と結婚したら」「仕事も変えたら」などと言われました!!なぜそんな事を言われなきゃいけないのか全く分からないし、これってパワーハラスメントだと思います!!そんな事を言う人がいるから、申請を出さずに年金を払わない人がいるんじゃないですか!!人の気持ちを良く考えて発言してもらいたいです。役場の人だからってどれだけ偉いんですかね!!とても腹立たしく思っています。(女性・10~20代)
- 役場の職員で説明のできない者がいる。職員が多すぎる。人員へらせ!(男性・70代以上)
- 役場本庁舎の改築(女性・70代以上)
- 庁舎にエアコンを完備して下さい。とても不愉快です。働く職員も大変でしょうが、町民も、用事があっても行きたくなくなります。そんな庁舎でいいのでしょうか?町民のためにエアコンを完備して下さい。(男性・30代)
- 美幌町役場も、お年寄りが多いので、バリアフリーにすべき。(女性・70代以上)
- 役場や会館、図書館などが一箇所で、広い共通の駐車場がある施設になるよう、建て替えや移設をして欲しい。今は分散しすぎていると感じます。(男性・40代)
- 町民にやさしい役場を目指し、必要な方に対し、手続きに必要な場所と書き方などを助け

る総合窓口の設置。

- 役場本庁舎 1 階、2 階、しゃきっとプラザの動線が良くない。現在、部署別としている執務室の配置を見直した方がよいと感じる。転入、転出、出生、死亡等の手続きについて、教委、公住など 1 階、2 階、しゃきっとプラザに渡って同じような手続き（住所、氏名の記載等）が多く数時間におよぶ場合があり、お客様が不快感を示されている。経済部（別館）、教育委員会、図書館等を複合的にできるのであれば、その方がいいと感じる。
- 現在の庁舎では大規模災害が起こった際に、現場指揮や災害対応する能力がなく、逆に被災し現場対応をすることが出来ないことで、対応の遅延により町民の不安が煽られると思われる。
- 庁舎建て替えとなる 10 年ほどの期間がかかる。建設費の積立や住民感情への配慮など、まずは議論をして進めていくことが大切と考えるため。

#### <公共施設>

- 少子高齢化、人口減少に伴う町の施設の統廃合と機能の充実。(男性・60代)
- 余計な金を使ったり、無駄な施設を作ったりせず、町民一人一人が家の近くをきれいにしていける。あまり余計な事はしない方がいい。(女性・50代)
- 無駄をなくす事により、美幌町もうるおうと思う。たとえば、小学校。20~30年前なら子供の人数も多く、3校必要だったかもしれないが、今の子供の人数なら、極端な話1校でもいいのでは？と思ってしまう。など、いっぱい無駄はあると思う。(男性・30代)
- 必要の無い「農業博物館」と「航空公園」は即廃止を！！何だかんだ必要性の理由づけをしたり、来館者の水増しをして存続をはかるのは、もうやめませんか？町民の大多数の本音は「まったく必要性の無い税金の無駄使い」と思っています。限られた予算なので、無駄は即廃止するべきです。(男性・30代)
- スキー場は平日に長時間一人の利用者も居ない状態での運営。偶然かも知れないが、3日リリー山麓の道路を通行すると、3日とも利用者が0か多くて2~3名程度。町民の一人として、啞然とするのと同時に虚しささえ感じる。運営する曜日を定める等、運営日数を減らすことにより、勤務員の人件費及び設備の稼働費が削減できる。夜間も利用者不在にも関わらず照明・勤務員だけ確保し、それに費やす費用の無駄に猛省を促したい。公約だから基金があるからと2億円もの予算を投じてパークゴルフ場を拡張整備するが愛好者のみの健康維持ができて、町民全体の医療費削減を期待するのは的外れである。今後の若い世代に、どれだけパークゴルフに対する興味が引き継がれるか？膨大な資金を投入したものの利用者が激減に傾くことも想定すべき。「この空き地はなんぞや？」となった時、その責任は誰がとるのか？負の遺産を誰が始末するのか？町民全体が幸福になるためには、施設整備や設備にも際限があるのでは。現状で我慢できる物は維持し、真に必要とされるインフラ整備或いは高齢者が自らの力で出来かねる部分の広い意味での支援費用等、掛けるべきところは多分にある。美園保育所も要望により修繕したものの、その後いまだ未使用状態と聞く。あまりにも将来像を見据えずの行政と批判されても致し方ないのでは。スキー場、パークゴルフ場、しゃきっとぷらざ等の運動施設は自分の力でいける人は活用できて、高齢者等自力で行くことが困難な人には何の価値も無く、無用の長物に他ならない。博物館も一度参観すれば十分であり、維持管理費も膨大。更に、航空公園の現状はどうか？現状の行政が継続されれば近い将来人口減に拍車が掛かり、財源不足に陥ることは明らか。不名誉な過疎地域指定で諸手を挙げ喜んでいいる場合ではなく、過疎地域に進む主たる原因はどこにあるのか？反転攻勢に出る策はないものかを関係者は真剣に考えてもらいたい。少子高齢化は勢い良く進んでいることを銘肝し、限られた財源を一部の人の趣味や主張に流され、湯水のごとく税金を注ぎ込む「税の無駄遣い」の行政はそろそろいい加減にしてもらいたい。米国の有名な諺のとおり「リーダーは木を見ず森を見よ！」である。まさに点を線に、更に線を面で捉えた実のある行政を進めて頂きたいと願います。(女性・60代)

- 厳しい財政状況下、施設の損傷・劣化等を将来にわたり把握し修繕計画を立てる。
- 自治基本条例の中でも町民主体を謳っていることから、職員がもっと地域にできるべき
- 公共施設の整備について、人口が減少する中、これまと同規模の施設が必要かを再検討し、本当に必要な施設なのか、他の施設と一体的に整備することはできないかなど計画的な整備が必要。計画期間中に、施設整備にかけられる予算を仮定して、その範囲内で、何をどのように整備していくかを町民のみなさんの意見を聞いて決めるべきだと思います。
- 全ての公共施設（道路・上下水道施設を含む）は、財源不足等により、一時期、最低限の維持補修しかできなかった状況でありました。この結果、老朽化が進んで危険と隣り合わせの施設も存在する状況です。施設の新設と比較すると地味ではありますが、国土強靱化地方計画や平成 26 年度の地方財政対策でも位置付けられている公共施設総合管理計画とも密接な関連が強く、ほぼ全ての部局に共通する事案であり事業規模も多額なことから中長期での計画的に取り進めるべき。

#### <税金、ふるさと納税>

- 税金を安くして欲しい。(女性・30代)
- 税金を納めている自分としては、未納税者が迷惑です！町外からの大手会社が町内の仕事をしている事も不満ですね…。言い出したらキリがない！（男性・30代）
- 住民税、水道料金も高いです。値下げしてくれると本当にありがたいです。(女性・10～20代)
- 税金が高い。何でもかんでも自衛隊に頼りすぎ！（男性・50代）
- ふるさと納税の推進。クレジット、ペイジーでの振込を導入し手続きの簡素化。商品も納税者が選択できるように寄附金額に見合う多様なオプション(美幌和牛や認証木工品など特産品、エコハウス宿泊利用券)を用意する。(納税上限額が2倍の6万円になる)
- ふるさと納税の獲得ふるさと納税による税収アップの成功例は、納税による見返りとして、魅力ある特産品等を用意しているので、お得感が強い内容や納税でしか手に入らないような特別な限定品を用意する。
- ふるさと納税のPRかつて美幌に住んでいた人たちに美幌の応援団となってもらい、ふるさと納税を促進することで、収入の確保を図る。札幌美幌会や東京美幌会等でPRを行っていると思うが、PRの拡大方法について検討する。(例えば、札幌でのJR・バス・地下鉄での車内広告など)
- ふるさと寄付金の充実と地域おこし協力隊の導入。両制度の相乗効果により、都市から地方への「資金の流れ」と「人材の流れ」を生み出すきっかけにする。すでに実施している「ふるさと寄付金」は、直営のままでは事務量の関係で件数の増加に限界があることから、「えくぼ」などのNPO等にアウトソーシングする。寄付者に贈呈する特産品の選定では、町外の寄付者に訴求するものにするために「よそ者」の視点の活用が有効。寄付者が選択できる特産品をブラッシュアップするには、商工会議所をはじめとする産官学の連携が不可欠。地域おこし協力隊の導入は、「よそ者」感覚をもった移住人材により、美幌の魅力を再発見するために活躍してもらうことが想定されます。先行自治体の成功例・失敗例を参考にしつつ、美幌への「人材の流れ」「町外との交流」を生み出す契機となるような事業として展開する必要があると考えます。

#### <その他>

- ✪ 津別町との合併
- 役場の人達が先頭に立って町民に接し、色々なアドバイスをし、対話すること。(女性・60代)
- “ゆりかごから墓場まで” 古い言葉ではあるが、美幌町で生まれ、成長していく過程で、教育、文化、福祉の充実は欠かせないし、満足出来る職場環境を如何にして備えるか、課題

は大きい。少子高齢化が叫ばれ久しいが、国の思いつき政策に振り回されることなく、美幌町独自の施策を追求することが肝要であるのでは。近い将来、美幌町が消滅することがないことを切に願う一人です。(男性・60代)

- 近隣町村の良い所を、まねてほしい。(女性・40代)
- 計画を策定することは良いことですが、実効性のあるものにしてほしいです。計画は10年間に付き、途中見直し等の場合は役場内部で変更するのではなく、(住民参加の)策定委員会のもとで進めてほしいです。
- 型にはまっけては個性も生まれず、魅力という言葉も生まれない。そう思うのは私だけでしょうか？町民の税金、町民の為にしっかり使ってほしい！美幌町の職員、そして美幌町民から選ばれた方々、私達町民は見て感じていることを忘れないで下さい。思いを形にしなければ何もしていないと同じ！“まちづくり”という言葉、ただの美しい言葉で終わらせないで下さい(女性・50代)
- 5期目の総括はしましたか？反省点や改善点が生じていれば、おのずから6期目の計画の土台は立ち上がるでしょう。実際は、各団体や業者への配慮から、あたりさわりのない総括になっているはず。強いリーダーシップを発揮できる(責任を取れる)部長や町長になってほしいものです。(男性・40代)
- ムダな公共事業をなくして下さい。子や孫の世代には負担を残したくありません。(女性・40代)
- 何か1つ抜け出した政策をした方がいいと思う。なぜなら、今美幌町民に、他の地域と比較して良い政策は何ですか？と言っても、「これです。」という答えは返ってこないと思いますよ。美幌町民として住みやすいまちづくりに期待しています。(男性・10~20代)
- 現在の美幌町の暮らしには概ね満足しています。まちづくりについては、よりよいまちづくりを考えることは町として大事なことです。現状を維持することに予算をかけることも大事なことだと思います。現状維持は決して後退とは思いません。町職員の皆様、頑張ってください。(男性・40代)
- 今、住んでいる町民に優しいまちづくりはもちろんです。未来の町民にも優しい住みよいまちづくりをしてほしい。予算もあると思いますが、継続・維持できない計画やまちづくりはやめてもらいたいと思います。目先だけを考え取り組んだり、始めたりせず、先をよく考えたまちづくりを心から望みます。(女性・30代)
- 人口動態。(現在少子高齢化に入り)当町の将来(人口)が、どう推移して行くのかを早めに想定して、全ての計画を樹立して行かないと。当然そう考えているとは思いますが、手遅れにならないよう。(男性・70代以上)
- 多くの人の意見を聞く事が大切である。町民が何を求めているのか十分検討し計画を進めてほしい。一例を挙げれば、立派な温泉設備を建設しても赤字続き。行きたいが交通手段が無い。町の中心から離れた場所に博物館。全く利便性を考えず建設していると見うけられる。(男性・70代以上)
- 町はもっと地元を大事にしていく必要がある。(町民、地元企業など)(男性・30代)
- 町営住宅の駐車場(の整備)、こんな事をしなくても、他に直さなければならない事がたくさんあるのではないのでしょうか？年金は少なくなる、物はあがる、低所得の人は死ねといわんばかりだ。(女性・70代以上)
- 本町もいよいよ過疎地域の指定を受けることになりました。残念な状況ではありますが、この過疎地域指定を今後本町の充実・発展に、そして住みよい町づくりにどう活かすかを考える時が来た。前向きに取り組むべきではないか。特に過疎債の恩恵を活用し、この際、過疎地域指定を契機として、第6期総合計画で12年間の長期的視野に立ち、計画的に新たな方向性を打ち出し、過疎地域指定により本町未来の明るい展望が開けるよう考えるべきではないか。(男性・70代以上)

- 町長や議員は、年長者しか見ていない。選挙、票集めしか眼中にないのか？本当に本当にそれで良いのか？人口減少はどこ地域もある事だからという考えでは、町の発展はない。私の子供達は全て町外（道外）に住んでいる。町には魅力がないと言っている。それでも私は、田舎には田舎の良さがあると伝えていきたいと思うが…。(男性・40代)
- 町長や町議会議員は、町の将来像（ビジョン）を町民に示すべきだと思う。理想の町の将来像に向けて長期総合計画を立て、計画の実現に向かって、こつこつと投資すべきと思う。(男性・40代)
- 仕事をしない町議会議員、態度のオオヘイな町議会議員を減らし、その予算をもっと必要な所に当てる事。不勉強な町職員は職員失格とする事。定期的な試験をして、スキルアップが見られない職員は辞めさせる。(男性・50代)
- 議員数が無駄に多い。経費削減がなっていない。(男性・50代)
- 議会に自治会代表も参加。(これにより自治会の重要性を高める。)(男性・30代)
- 町議にしても、議会に参加できる人間など自営業や定年した人間しかなれない。そんな人間たちしか集まっていないのに美幌が良くなる訳がない。(男性・10～20代)
- 町議やまちづくりにたずさわる人間から変えるべきです。若者の意見などを素直に受けとれない年配の町議は変えるべきですね。今の町議の動きがさっぱりわかりません。何をしているのでしょうか？(40代)
- 町民一丸となっを行わなければ「まちづくり」は出来ないと思いますが、その前に、町議さん達にもっと勉強していただかなければ、町民への理解は得る事は出来ないと思います。広報やホームページで議会や予算等を拝見していますが、お粗末な内容になっている事が多々有ります。(男性・50代)
- 町議に定年制を導入する。若者の町議を2～3名入れる。(男性・30代)
- 既存の法令等にとらわれない前向きな発想を、町民とともに考え、実現させていく地域力を育てる。具体的な例としては・町民の安心安全を優先する個人情報保護特冷特区、遊休農地の町民利活用を可能とする農地法特令特区、行政等第三者の廃屋撤去を可能とする○  
○特区